

大 幡

<INNOVA>



写真:2005年度クリスマス家族会にて

「新たな年を迎えるそしてJC運動は果てしなく続く」
理事長 浦本知彦

バブル崩壊期を過ぎ、地方経済はまだトンネルの中を脱し切れませんが、日本全体、また地方の一部では様々な新しい考えの下、新たな社会活動が生まれています。数年後には「団塊」の世代が定年を迎え、「新人類」と言われる世代が世の中を牽引していく時代が直ぐそこに来ています。鳥取JCの活動もどんどん新しい考えでその輪を広げていくことが可能になってくると確信します。

「ニート」といわれる社会参画をすることが難しい人たちが現れ、自己完結型の自己実現を満たすべく消費生活を楽しんでいます。自らが自らのことのみに興味をもち、社会に対する関心や他人に対する思いやりや礼儀を育むことができないという事は、社会として本心に寂しく、可哀想なことだと思えます。経済的な問題以前に、他人に対する思いやりの欠如は社会全体の成熟度を著しく下げることになりません。そして動機の理解できない凶悪事件が毎日のように起こり、その報道の余りの多さに、こちらとしても接する度に憤ることもままならず、人間としての感情が麻痺しているのではないかとさえ思うほどです。本当日本はおかしな国になってしまいました。

、自然インフラ、あふれる資源、いっぱいのは因幡においても人の心や社会の動きなどがおそらくこういった方向に傾きつつあると感じます。おかしいことをおかしいと外に向かって言えるのはJCしかありません。今こそ奉仕・修練・友情のJC三信条を胸に我々の活動があらためて発揮されなければいけない時だと思えます。

本年度はスローガン「静と動、あらまほしき因幡をめざして」の下、市民協働のまちづくり、リーダーづくりアクションを重点方針としてあげ、公益法人の一員としての意識を高め、地球環境に配慮し、そして外部に対して活動を発信して市民の方との距離の近いJCを目指すことを掲げました。13委員会の非常に活発な委員会活動、委員会事業によって本年度の目指した活動が行われたと確信します。皆さんのおかげで無事に2006年度寺本理事長にバトンを渡すことができます。(社)鳥取青年会議所の活動に対してご理解御協力頂いたすべての方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2005/v o 1.12 2005年12月21日 発行

スケジュール

- 1月1日(日) 新年祈願
- 1月7日(土) 新年祝賀会
ホテルニューオータニ鳥取(鶴の間)
集合時間 17:30~
- 1月10日(火) 2006年度1月理事会
- 1月18日(水) 1月定例会・定時総会
ホテルニューオータニ鳥取(鳳凰の間)
19:00~
- 1月21日(土) 京都会議(1日目)
- 1月22日(日) 京都会議(2日目)

青雀会・じゃがいも会合同打ち上げ開催

青雀会・じゃがいも会合同打ち上げ 開催 !!

05年11月30日に「青雀会・じゃがいも会合同打ち上げ」が開催されました。当日は月末であり、JC活動も本年度・次年度の活動があり大変忙しい時期ではありますが、普段の懇親会とはまったく違うテンションで盛大に開催されましたことをご報告申し上げます。

青雀会の年間優勝(取りきり)は浜岡浩之君でした。おめでとうございます。また、06年度の青雀会の会長は今川武君が決定し、06年度の青雀会もますます楽しくなる旨の、ご挨拶を頂きました。

05年青雀会は岡村会長を始め、幹事団(浜崎幹事長、青山幹事、山本竜幹事、杉本幹事)で運営を行なっていました。今回の合同打ち上げで1年間の青雀会の活動が終了いたしますが、メンバー皆様のご協力により無事終了することが出来ました。

メンバーの皆様へ感謝申し上げます。1年の締めとしたいと思います。

「感謝・感謝・ありがとうございました。」

青雀会 副会長 今井敏明

じゃがいも会

今年も最後となりましたじゃがいも会でもあり、年間の現役チャンピオン決定戦を決める取りきり戦を11月23日旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部の白兔コースで開催いたしました。参加者も和気藹々と、たったの四人。どちらかと言えばプライベートに感じられるほどの和やかさでした。

その中でチャンピオンの権利がある安陪会長と年間最多優勝の星山君とで火花の散る優勝争い。結果安陪会長がまたまた沢山のハンデをもらい年間のチャンピオンとなりました。安陪会長いわく、今年は自分の為のじゃがいも会の開催だったとか、コメントしながら優勝の美酒を夜の街で呑んでいたとか、いなかったとか。何にしても酒と遊びの大好きな会長でした。

話は変わりますが、2006年度は岡垣会長がじゃがいも会をひっぱていかれることが決定し、ますます楽しいじゃがいも会が期待できると思います。ぜひとも多くの参加をお願いいたします。

じゃがいも会 会長 安陪幸伸

2006年度新年祝賀会のご案内

- 日 時: 2006年1月7日(土)
- 集合時間: 17:30
- 開催時間: 18:30
- 場 所: ホテルニューオータニ鳥取(鶴の間)

理事会報告

審議事項

- 12月四役会日程変更 承認の件
- 会報誌の発行 事業報告(案)承認の件
- 研修会員研修会(前期・後期) 事業報告(案)承認の件
- 新因幡景観維持再生大作戦PART-2 鳥取の景観を観光政策へ、そして経済活性化へ新因幡「景観」維持再生フォーラム
~鳥取型シーニックバイウェイの構築に向けて~
事業報告(案)承認の件
- 湖山池魅力発見会 ~古くて新しい因幡の宝~
事業報告(案)承認の件
- 第6回鳥取三十二万石お城まつりへの参画
~「日本一」の一夜城 誇りある鳥取城下町 ~
事業報告(案)承認の件
- 12月定例会次第(案)承認の件
- その他

協議事項

- その他

報告事項

- 各委員会
- 出向理事
- その他



岡村会長1年間おつかれさまでした。



安陪会長1年間おつかれさまです。取りきり戦優勝おめでとうございます。

URL <http://torijc.hal.ne.jp>

2005年度日本JCスローガン
"JC New Generation" 新たなる日本の夢に向かって

(社)鳥取青年会議所 会報誌 Tottori Junior Chamber Inc.2005 JC report

2005年鳥取JCスローガン

静と動

~あらまほしき因幡をめざして~

2005年重点方針

市民協働によるまちづくりの実現
リーダーづくりアクションの実施

新因幡「景観」維持再生フォーラム

鳥取型シーニックバイウエイの構築に向けて開催



新因幡「景観」維持再生フォーラム を終えて

地域経済活性化委員会
委員長 福田 俊史

一月一日(土)、環境大学にて我が地域経済活性化委員会による事業、新因幡「景観」維持再生フォーラム鳥取型シーニックバイウエイの構築に向けてを開催いたしました。

この事業では八月に行なわれた事業「写真家池本喜巳と歩く鳥取百景」の成果を踏まえた上で、鳥取のまちづくりを「景観」という視点から捉え、鳥取の魅力的な観光地を景色の良いルートで結び県外の方たちにも喜んで頂くことのできる観光政策を提案いたしました。

当日は、「鳥取百景」のビデオ上映の後、国土交通省総合政策局長の竹歳誠氏が「景観を活かしたまちづくり」と題して基調講演をされました。その後、竹歳氏や写真家の池本氏、じやらのディレクター黒澤氏、鳥取県生活環境課次長の青木氏そして当LOMより浦本理事長に御参加頂いて



福田委員長お疲れ様でした。有意義なフォーラムでしたね。

地域経済活性化委員会
委員 石川 陽介

私が鳥取にきて早くも一年半の歳月が過ぎました。この事業を終えるまで鳥取のイメージは地元の特産品や温泉くらいしか浮かびませんでした。そして、この事業に参加すること

らない状態にもかかわらず、遅いスタートを切ってしまい地区運営団のメンバーには業務の二週間をかわせてしまいました。仕事が終わってから24時過ぎまで、ある日は朝方4時まで、タフなメンバーは無理を言う私に文句ひとつ言う事無くそれぞれの仕事をしてくれました。また、こんな私を心配して私の所属である青少年リーダー育成委員会の有本委員長、山根副委員長が夜遅くにお手伝いしに来てくれました。そしてLOMの浦本理事長をはじめとする理事役員の方々には急に申し出たにもかかわらず、前日に集合していただき遅い時間まで貴重な意見をいただいたり、当日お手伝いしていただいたメンバーの方々にお声をかけていただきました。当日はLOMメンバーの方々にお忙しい中無理をしてお手伝いしていただきました。おかげさまでこの地区協議会と比べても最高のおもてなしが出来たのではないかと思います。

そして終えたときは、こんな私に皆様一人一人が力いっぱい手を握ってくれました。感謝の気持ちで一杯で涙が溢れそうに言葉にならず、皆様には私だけだひたすら頭を下げ、力強く手を握り返すことしか出来ませんでした。心より感謝しております。こんな気持ちとなく経験されてきたであろう先輩方に今一度、心より尊敬の念を抱いております。

しかし、涙は一年後にとっておきます。これが地区の登竜門であり、スタートなのでから。合掌

新旧合同会議を終えて
2006年度中国地区協議会
会長補佐 山田大介

振り返ると中国地区協議会新旧合同引継ぎ会議、大懇親会の行われた一月一日は私にとって感謝の一

の、パネルディスカッションが行なわれました。

この事業において多くのメンバーの方々にご協力頂き、無事、フォーラムを終えることが出来ました。感謝申し上げます。ありがとうございます。

「新因幡景観維持大作戦 地域経済活性化委員会事業を終えて」

言に尽きる一日でした。準備期間が少なくなっていくにつれて、練り直しの連続と、出てくる不安材料、そして疲労。そんな中でもメンバー1人ひとりが協力し補い合うことにより生まれる少しの安心感。この二つを繰り返しながら少しづつ幹事団という言葉が自分にフィットしてきたように思えます。そしていざ当日を迎えた時の心境は、正直言って伸るか反るか、勢いと気合で乗り切ろうというものでした。

案内の想定外の事が起きシナリオ通りには行きそうにない時、迅速で柔軟な対応で助けて頂いたLOMメンバーの方々には本当に感謝しております。入会して日の浅い私にとって大変心強く有難いものでしたし、JCメンバーとして小さな一歩を踏み出したような気がしました。そして会長補佐としての役割を終えた時の喜びや達成感が少しでも大きなものになるように一年間精一杯頑張りたいと思います。

2005年度 (社)鳥取青年会議所 卒業式

卒業式を終えて

会員交流委員会
委員長 森田浩二

去る一月二十五日(金)二〇〇五年度(社)鳥取生年会議所卒業式・懇親会が開催されました。まず、卒業されます三名の皆様おめでとうござ

います。本年度、会員交流委員会では、卒業生にはそれぞれのJC活動を振り返り思い出していただくことを、また現役メンバーには卒業生の皆様がどのような活動をされてきたかを知っていただくという目的でJC活動を振り返るビデオを作成し上

足がつる思いです。谷口先輩、山本

でいろいろなことを知りました。

この因幡には、美しい自然、各地域の風土や文化に根付いた町並みなど、そこに住む人やそこを訪れる人にさまざまな影響を与えてきた景観があります。昨年一月には国が「景観法」という新しい法律を策定し、鳥取県でもそれに伴い「景観」に対する意識が高まってきました。これを機に「因幡の景観」を観光政策へ、また経済の活性化へと結びつけるためにも今回の事業は非常に意味のある事業に私は思

えました。そこで、平成二〇年度開通予定の鳥取自動車道姫路鳥取線が完成した姿を意識し、この地域に残る価値ある景観を有効に活用し、実際に京阪神から観光客を受け入れ、満喫して頂きました。

その中でも私が一番心に残った景観は城原海岸でした。というのも私が担当させて頂いた場所でもあり、特にゴミの多さには大変驚かされました。海から流れ着いたもの人為的に捨てられたもの、さまざまでしたが観光客を迎えるには恥ずかしい景観だったのかもしれない。しかし当日はメンバーの協力もあり当日は自然そのものの景観を楽しんで頂けたのではないかと思います。観光客が来るから汚れてしまうのでしょうか？観光客が来るからきれいにするのでしょうか？どちらにしてもひとりひとりの意識によつてすばらしい景観が保てるのではないかと感じました。

事業後はフォーラムの開催、「新因幡景観マスタープラン」の作成など、ちも今後の地域の活性化、県民の景観を意識したまち作りへの第一歩だと思っております。

最後に、冒頭にも述べましたが私がこの地へ来て一年半。ある意味観光

映致しました。メッセージをいただいたOBまた関係者の皆様ありがとうございました。卒業式においては厳粛な運営を行わないといけないにもかかわらず打ち合わせが不十分であり細かなミスがあったことをお詫びいたします。懇親会ではメンバー皆様の協力を頂き会が盛り上がり本場により卒業式懇親会になったことを感謝いたします。ありがとうございます。



卒業生の皆様御卒業おめでとうございます。

卒業式を終えて

会員交流委員会
委員 飯島 礼利

一月二十五日、ウエルシティにて2005年度卒業式が行われました。我々会員交流委員会としましては、毎月行われる定例会以上の緊張感で準備・運営に臨みました。何度打ち合わせをしても、式が開始されても、その緊張感が和らぐことはありませんでした。現役メンバーの気持ちを代表しての準備・運営、当然のことだと思えます。今思い出しても足がつる思いです。谷口先輩、山本

客的な観点のなか、このようなすばらしい事業に参加できたことをうれしく思います。そして、この第一歩が

二歩、三歩へと前進できるような継続的な取り組みを応援していきたいと思えます。因幡市民のひとりとして意識ある行動でありたいと思います。



長い1日でしたね。岩成会長お疲れ様でした。

中国地区協議会新旧合同引継ぎ会議 開催

新旧引継ぎ会議を終えて

2006年度中国地区協議会
会長 岩成 正志

ほとんどまともな睡眠を取ることなく一月一日の当日を迎える事となった中国地区協議会出向メンバー、地区内五六LOMから二〇〇名を超えるメンバーが一堂に会する一日であり、また本年は池田会頭の想いとして日本JCCの役員全員で各地区協議会を応援したいという意向のもと二〇名を超える日本JCC役員

の参加もあり、運営サイドとしては大変緊張の高まる会議となりました。また鳥取JCとしても過去に経験のない会議の運営ということもあり多少の戸惑いがあったことも否めない面かと思えます。そんな不慣れな運営を察していただき、浦本理事長

先輩、森原先輩、ご卒業おめでとうございます。先輩方には、様々な感動を頂きました。私は、直接のご指導頂けることはできませんでしたが、導頂けることはできませんでしたが、また、感謝状の内容、愉快にして偉大だった方達だったということが十分過ぎるほどわかりました。そんな先輩方に快く卒業して頂きたい。現役メンバーはもろろん、会員交流委員会の想いは共通です。会員交流委員会としては、できる範囲を少し無理して超えることで卒業生への気持ちとさせていただきました。気持ちだけが空回りしてギクシヤクした場面もありましたが、大きなアクシデントもなく無事に終了して胸を撫で下ろしております。一月定例会から始まり、一月定例会、卒業式、卒業懇親会とするべきことが重なりましたが、その分達成感も一際でした。

最後になりますが、谷口先輩、山本先輩、森原先輩、どうか今後とも鳥取青年会議所を温かく見守ってください。そして、会社と家庭と更なるパワーでご活躍ください。ありがとうございます。また何処かでお会いしましょう。

クリスマス家族会 開催

クリスマス家族会を終えて

会員交流委員会
副委員長 柴原 史則

一月三日(土)は、2005年度(社)鳥取青年会議所の最後の事業となる、クリスマス家族会が盛大に開催されました。今年度は、昨年までのクリスマス家族会の意義ある部分はしっかりと引継ぎさせて頂き、しかしながら、楽しい中にも、公益法人の事業としてふさわしい会となるような試みにも挑戦できました。又、アトラクションのビンゴ大会も参加者の皆様に大いに喜んで頂けました。今年一年間、定例会や卒業式など、会

には様々な運営上のアイデアを頂きました事、また理事役員をはじめ多くのメンバーへの協力を要請して頂きましたことを心より感謝申し上げます。開催前日までお集まり頂きました理事役員の皆様本当にありがとうございました。御座いました。

2006年度は地区運営サイドとしてもこれまでに経験したことの無い事への対応も多々発生してまいりました。我が(社)鳥取青年会議所にとりまして同様であります。しかしこの度の中国地区協議会の新旧引継ぎ会議は予定者段階での最大の難関であり、LOM一丸となって大きな山を乗り越えることが出来たことを本當にうれしく感じております。2006年度中国地区協議会の運営を通じて様々な経験を皆様と共に積み上げていきたいと思っておりますので、寺本理事長をはじめとするLOMメンバーの皆様には多大なるご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「登竜門」
2006年度中国地区協議会
会長特別補佐 山本竜

夏より始まった会長特別補佐としての動きは、この2005年度社団法人日本青年会議所中国地区協議会新旧合同会議が準備段階においてのメインであることは百も承知していました。しかしスタートを切り出すのが遅いという短所を持った私は、結論として地区運営団やLOMの皆様にご迷惑をかけることとなったのです。

中国五県より約二〇〇名、日本青年会議所より約二五名のお客様をおもてなしするにはどうすればいいのか、また、どんな設備をすればいいのか、何人の力が必要なのか、何からすればいいのか、右も左もわからない状態に不安があり、メンバーの皆様にご迷惑をおかけしたことが多々ございましたが、この二時間三〇分のために着々と準備してきた成果が実り、最後は大成功で名譽挽回できたと思えます。改めて一年間本當にありがとうございました。



会員交流委員会のみならず、楽しいクリスマス家族会ありがとうございました。

会員交流委員会
委員 江谷 俊郎

メリークリスマス！一月三日、ホテル三ノオータにて本年度最後の事業であるクリスマス家族会が行われました。当日は多くのメンバーそしてご家族の皆様にご参加していただき、ありがとうございました。

数ヶ月も前から委員会メンバー全員と話し合いを繰り返し準備してまいりました。無事盛大に開催することができました。今回のクリスマス家族会は本年度(社)鳥取青年会議所活動にご家族の皆様にも見ていただけるように写真を展示し、アトラクションでは、ビンゴゲームなど様々な工夫をしました。気づけばあつと言間に閉会となりました。一年間、会員交流委員会での勉強をさせていただきました。

理事長をはじめメンバーの皆様そして森田委員長をはじめとする会員交流委員会メンバーの皆様、本當にありがとうございました。